

令和 5年度 事務事業評価表（個票）

課名 教育推進部図書館

作成日 令和 6年 8月 1日

概要	施策名	図書館		基本目標	未来につながる人材を育むまち							
	施策の目的	市民の教養を高めるため読書の普及とともに、知識と情報の拠点として、多様な資料・情報を収集・保存・提供を行うこと。										
施策の方向	令和 5年度 の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 遅延 <input type="checkbox"/> 進展なし	令和4年度にデジタル田園都市国家構想推進交付金等を活用して導入したICタグによる図書館管理システムにより、利用者の利便性や窓口業務の効率化を行った結果、館内サービスだけでなく、館外サービスを充実させることができた。令和5年度の蔵書点検では、不明資料の点数が減少した。									
	今後の方向性 (改善措置等)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善	ICタグによる図書館管理システムを維持し、利用者へ利便性を周知するとともに、IC技術を使った新しいサービスについて情報収集を行う。									
No.	事務事業名	活動内容				コスト（事業費：千円）						
1	図書館利用促進事業	活動指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 5年度	令和 6年度	
				実績	計画	実績	計画	決算	当初予算	決算	当初予算	
		全体事業概要	① 自動貸出機利用率（人数）	%	56.9	57.9	69.4	58.9	41,071	1,625	1,620	1,817
		現在所蔵している本・雑誌は「バーコード」のみによる資料管理を行っているが、視聴覚資料、地域資料、レファレンス資料はICタグによる管理を導入している。今後新たにICタグを資料47万点に貼付し、自動貸出機やICゲートなどのIC関連機器を導入することで、業務のデジタル化、効率化を推進し利用者の利便性向上を図ることにについて調査研究を重ねる。	②						令和 7年度の優先度			
			③						<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> D
			令和 5年度 の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 遅延 <input type="checkbox"/> 進展なし	令和4年度にデジタル田園都市国家構想推進交付金等を活用し、全所蔵資料へのICタグ貼付を達成、ICタグによる図書館管理システムを導入した。自動貸出機等の導入によって利用者の利便性を図り、IC関連機器の設置に併せて窓口業務を整理し効率化を行った。							
	事業区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託 <input type="checkbox"/> その他		今後の方向性 (改善措置等)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 自動貸出機等のICタグを活用したセルフ機器について、利用の補助を継続していく。窓口での対面の対応を希望する方にも丁寧に対応していく。							
	計画対象	<input type="checkbox"/> 実施計画査定対象 <input type="checkbox"/> 行政改革対象										

※決算額については、端数処理により、他資料の決算額と差異が生じている場合もあります。